平成30年度学力定着状況確認問題結果について【概要版】

山口県教育庁義務教育課 平成30年12月

1 実施概要

(1)目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

(2) 実施期日

平成30年10月24日(水)※学校の状況に応じて、10/22~10/26の期間に実施

(3) 実施対象及び実施内容

①小学校

学 年	実施人数	内容(時間)		
第4学年	10,912人	国語、算数(各 40 分)	及び質問紙	
第5学年	11,003人	国語、算数、社会、理科(各 40 分)	及び質問紙	
第6学年	10,925人	国語、算数(各 40 分)	及び質問紙	

②中学校

学 年	実施人数	内容 (時間)		
第1学年	10,181人	国語、数学(各 45 分) 及び質問紙		
第2学年	10,481人	国語、数学、社会、理科、英語(各 45 分)及び質問紙		

2 教科の問題に関する結果

(1) 平均正答率

①小学校

	国 辞	i	数	社	会	理	科
第4学年	59.9	% 57	7.6%				
第5学年	61.8	% 56	6.4%	63.	1 %	58.	6%
第6学年	59. 1	% 62	2. 3%				

②中学校

	国	語	数	学	社	会	理	科	英	語
第1学年	67.	7 %	64.	0 %						
第2学年	59.	3 %	50.	0 %	49.	2%	48.	4 %	54.	6%

(2) 教科の問題結果から見られる特徴

- 基礎的・基本的な内容を問う問題については、概ね成果や改善傾向が見られる。
- 基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題や記述式の問題には、依然として課題が見られる。

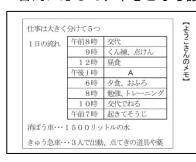
		主な成果	主な課題
	田語	○基本的な漢字を正しく読むこと○段落の内容を的確に捉え、適切な接続詞の使い方を理解すること○目的に応じて、中心となる語を捉えること	 ●主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分けること ●文章を引用して書くこと ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら書くこと ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読むこと
小学校	算数	○基本的な四則計算をすること○比例関係に着目し、正六角形の周りの長さを求めること	●折れ線グラフの目盛りの取り方を考えること ●割合の内容を理解すること ●問題場面について情報を整理し、理由や方 法等を説明すること
	社会	○地図記号が表している建造物を判断すること○会話文に関わる適切な資料を判断すること	●資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報をもとに説明すること ●日本の位置を大陸の名称等を活用して、説明すること
	理科	○ゴムのはたらきについて、目的に応じて予想を設定すること○メダカの生育に適した環境について、理解すること	●虫めがねで日光を集めたときの明るさと 紙の様子について、理解すること ●インゲンマメが育ってしおれた子葉が、種 子のどの部分にあたるかを理解すること ●ゴムの働きについて、実験を比較する際の 条件を判断すること
	国語	○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと○時と場に応じて、適切な敬語を使うこと○知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問すること	●内容を的確に捉え必要な情報を取り出すこと●古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えること●文脈に即して正しく漢字を書くこと
	数学	○比例の意味を理解すること○展開図から立体を読み取ること○度数分布表を理解すること○考察の対象になっている数量を捉えること	●基準量を求めること●求めたい数量を、式を使って表すこと●円柱の表面積を求めること●判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
中学校	社会	○写真や資料から必要な情報を正しく読み 取ること○時代ごとの主な人物を理解すること	●資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明すること●示された条件に従って、社会的事象の特徴等について説明すること
	理科	○葉緑体の意味を理解すること	●物質の識別方法とその結果の見取り方を 理解すること ●学習内容と身の回りの生活との関連を認 識すること
	英語	○英語を聞いて絵の状況を適切に表しているものを選ぶこと○英文を読み、その内容が適切な順に並べられたものを選ぶこと	●文脈に合うように内容を考えて、英文を書くこと●英語で書かれた情報を読み取り、質問に英語で答えること

(3)特徴的な問題例

〇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例①】国語 小学校4年 2一

目的に応じて、中心となる語を捉えること 正答率:89.2%



【ようこさんのメモ】のAに入る言葉を、【消ぼう士さんのお話】 の中からぬき出して書きましょう。

【正答】パトロール

【問題例②】数学 中学校2年 2 (1)

整式どうしの減法の計算をすること 正答率:74.3%

-2(x-3y)-(x-5y) を計算しなさい。 【正答】 -3x+11y

過去の調査における同様の問 題の正答率

H29 確認問題 : 53.5%

●課題の見られた問題

【問題例③】国語 中学校2年 3二

古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えること 正答率:19.5%

小僧(弟子)の話した言葉にあたる部分を、【原文】から書き抜き、はじめと終わりの五字を書きなさい。 【現代語訳】 (略)弟子が、「空の星がほしいので、たたき落とそうとするが、落ちない」とこ

【原文】

(略) 空の星がほしさに、うちおとさんとすれども落ちぬと。(略)

【正答】「空の星がほ~ども落ちぬ」

【問題例④】算数 小学校6年 12

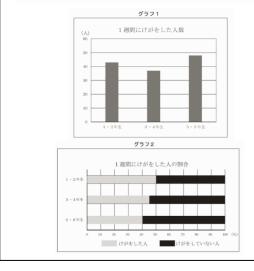
割合の内容を理解すること 正答率: 23.2%

たえると、(略)

全国調査における同様の問題 の正答率

H30 全国調査 22.4%

あきらさんは、学校で1週間にけがをした人数について調べました。



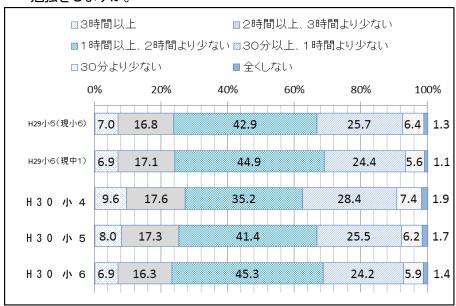
【正答】ア 3 , イ 4 (完答)

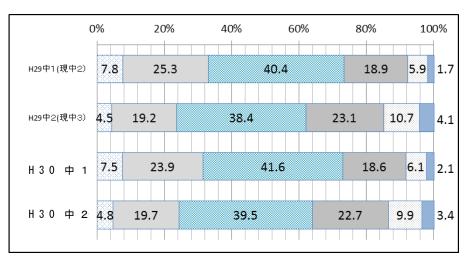
3 児童生徒質問紙調査の結果

【質問紙調査結果から見られる特徴】

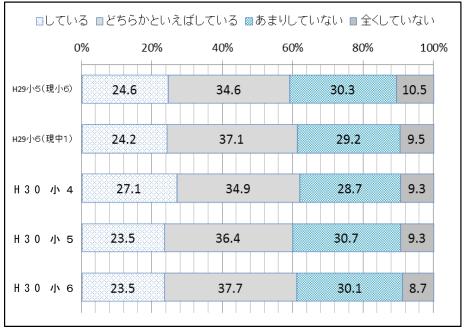
- 学校の授業時間以外に、1時間以上勉強していると回答した児童生徒の割合を、前年度の同集団の割合と比較すると、多くの学年で、前年度より増加している。一方で、自分で計画を立てて勉強していると肯定的に回答した児童生徒の割合は、減少傾向にある。家庭等で計画的に学習を進められるような児童生徒への働きかけを行うとともに、引き続き家庭との連携の充実を図る。【質問①2】
- 授業で使うノートやプリントに学習のめあてやまとめを書いていると 肯定的に回答した児童生徒の割合は、多くの学年で前年度より増加して いる。この結果と比較すると、授業の最後に、学習内容を振り返る活動 をよく行っていると肯定的に回答した児童生徒の割合はやや少ない。児 童生徒が授業で主体的に学ぶことができるよう、引き続き、学習の見通 しを立てたり、まとめや振り返りを行ったりする活動の充実を図る。【質 問3④】
- 授業において、課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると 肯定的に回答した児童生徒の割合を、前年度の同集団の割合と比較する と、前年度より増加している。新学習指導要領の全面実施を見据え、求 められる資質・能力を確実に育成するため、「主体的・対話的で深い学び」 の実現に向けた授業改善を一層推進する。【質問⑤】
- ※ 本資料のグラフは、学年進行による推移や、平成29年度の調査結果と比較した状況が把握できるよう、平成29年度と平成30年度の結果をまとめて掲載しています。

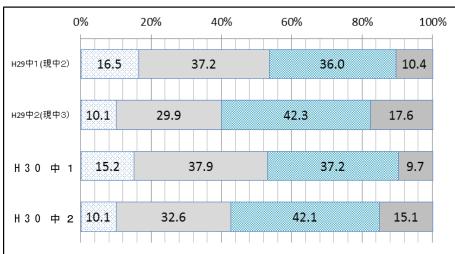
【質問①】学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、 勉強をしますか。



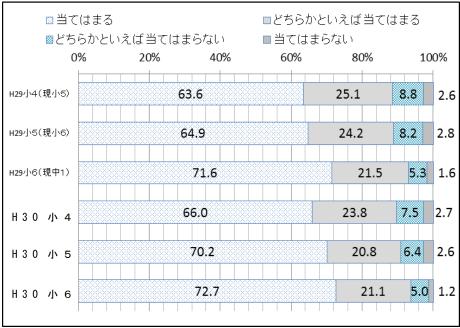


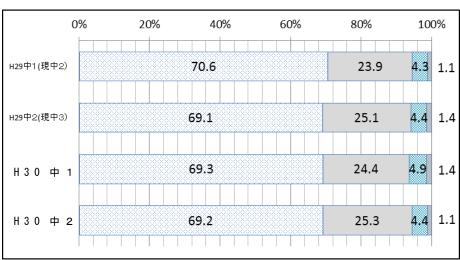
【質問②】家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



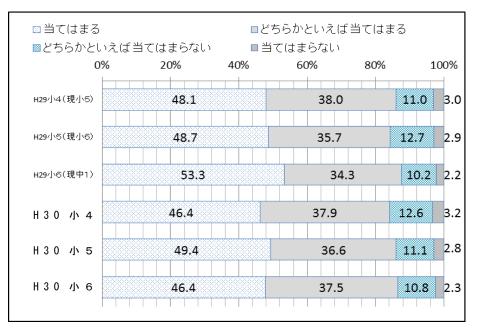


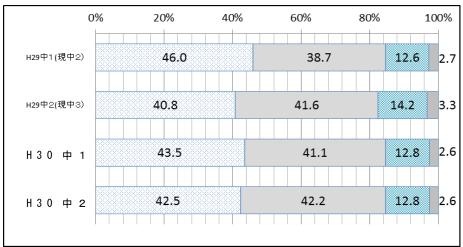
【質問③】授業で使うノートやプリントに、学習の目標(めあて・ねらい)と まとめを書いていると思いますか。





【質問④】授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。





【質問⑤】授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分 たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思 いますか。

